

四日市市議会

提言シート

(1) 民生委員・児童委員のなり手不足解消に向けた再検討について

(2) 待機児童の解消に向けたさらなる取組について

(3) 現図書館が最後まで市民に親しまれる施設であるための予算の確保について

(4) 地域マネージャーの持続的な人材確保と連携体制の構築について

(5) 治水対策全般について



令和7年10月6日

四日市市議会提言シート

～次期予算編成に向けて～

(令和7年9月定例月議会 決算常任委員会)

No. 3

事業名	現図書館が最後まで市民に親しまれる施設であるための予算の確保について
事業概要	図書館においては、市民、地域に役立つ図書館を目指し、子どもから高齢者、また多様な興味や関心を持つ人たちのニーズに対応できるよう、幅広く豊富な蔵書や資料の充実に努めた。また、令和7年2月の図書館情報システムの更新に合わせ、新たにICタグによる図書管理を開始し、利用者サービスの向上を図った。図書館への来館が困難な方等へのアウトリーチサービスについては、令和5年度に開始した「よっかいいち電子図書館」サービスの利用拡大に努めるとともに、老朽化した移動図書館車「かもめ号」を更新し、図書館サービスを地域に届けられるよう努めた。
決算額	図書資料整備費 34,444,709 円 人権啓発拠点推進事業費 860,376 円 図書館維持管理費 50,643,230 円 移動図書館運営費 33,846,238 円 図書管理システム運営費 83,731,745 円 電子図書館運営費 14,886,385 円
次年度予算への提言	
＜提言＞ 現図書館が最後まで市民に親しまれる施設であるための予算の確保について 新図書館へ移行するまでの間、現図書館が市民に親しまれる利便性の高い施設であり続けられるよう、新図書館での活用も踏まえたソフト面での積極的な投資に加え、ハード面についても費用対効果を考慮して市民の利便性向上に資する整備を行えるよう、予算を十分に確保すること。	
※参考 事業実施に関する意見 ⑤その他（事業の継続的な実施）	